

令和2年度
事業計画書・収支予算書
(案)

足腰の強い「健都ふくしま」を目指して

会員事業所のさらなる強化
新たなまちづくりの実現の加速化

令和2年度 事業計画書・収支予算書(案)

目次

■事業計画書

第1部 令和2年度事業の考え方と推進体制

- 1. 基本理念と施策目標…………… 2
- 2. 推進体制…………… 4

第2部 施策体系と事業

- 1. 事業方針…………… 6
- 2. 施策体系
 - (1) 施策Ⅰ 活力ある福島の創造 …… 8
 - (2) 施策Ⅱ 会員事業所の発展 …… 10
 - (3) 施策Ⅲ 魅力ある商工会議所 …… 14

第3部 部会・委員会事業

- 1. 部会事業…………… 16
- 2. 委員会事業…………… 22

■収支予算書…………… 29



福島商工会議所 プロフィール

設 立／大正6年7月28日
※県内で1番目、全国で66番目の商工会議所として設立
所 在 地／福島市三河南町1-20 コラッセふくしま8階
法的根拠／商工会議所法
※昭和28年8月1日法律第143号
会 員 数／3,894 (R2.2.29現在)
議員定数／130



商工会議所マークは、商工会議所の英語名 CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRYの頭文字CCIを図案化したもので、昭和32年に日本商工会議所が全国から募集し、1等に入選した作品です。

1. 基本理念と施策目標



足腰の強い「健都ふくしま」を目指して 会員事業所のさらなる活力強化 新たなまちづくりの実現の加速化

会頭 渡 邊 博 美

東日本大震災から9年が経過し、人口減少が加速する中、福島市の経済はいまだ続く風評や深刻な人手不足、消費税率引上げ後の需要低迷、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞など課題が山積しています。

特に新型コロナウイルスの感染拡大は、宿泊・飲食サービス業等での自粛によるキャンセルでの売上の大幅な減少のほか、その影響は、小売・卸売業、製造業、建設業、運輸業などすべての業種に及び、会員の皆様からも地域経済の停滞の悪化を懸念する声が多く聞かれる状況となっております。

当所では、相談窓口を開設し、金融支援をはじめとする会員の皆様からの相談のほか、所報やホームページなどにより、国や県等の実施する支援内容等の周知に努めておりますが、情勢が刻々と変化していることから今後も情報収集に努めながら、行政との相互連携を更に強化し、経営支援の強化に全力を尽くしてまいります。

また令和2年度は、NHK連続テレビ小説「エール」の放送開始や、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催など、福島市が大きな注目を浴びる年でもありますので、これらを福島市の活性化につながる好機として捉え、関連イベントの実施やおもてなし事業などについて積極的に取り組むほか、整備が進む東北中央自動車道を活用した広域連携や観光振興をさらに推進し、近隣商工団体との連携による交流人口の拡大を図ってまいります。

中心市街地においては、福島市が平成30年12月に発表した「風格ある県都を目指すまちづくり構想」に描かれた「福島駅東口再開発事業」が動き出す中、賑わいと魅力あふれる中心市街地を実現するため、世代を超えて集えるイベントに加え、NHKの連続テレビ小説「エール」を素材とした展示施設の開設など情報発信機能を強化し、まちの回遊性を高めて滞留時間を増やすなど民間の活力と幅広い世代の参画によるまちづくりの推進に取り組んでまいります。

元気で活力ある福島市をつくるため、基本理念を「足腰の強い『健都ふくしま』を目指して」と掲げ、「会員事業所のさらなる活力強化」と「新たなまちづくりの実現の加速化」とを年間テーマとし、「ふくしま将来ビジョン」の実現に向けたアクションプランを着実に展開しながら、(1)中小企業支援の充実、(2)福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化、(3)連続テレビ小説「エール」などを活用した観光振興および交流人口拡大対策の推進、(4)会員サービスの向上と組織・財政基盤の強化を事業の柱として各種事業を着実に実行してまいります。

会員事業所の発展と地域の活性化のため、さらに現場主義に徹しながら福島市の発展のために全力で取り組んでまいります。



商
工
会
議
所
の
使
命

地域経済の 活性化

まちのにぎわいを支え、未来を創り、
福島復興と再生を推進します。

企業の安定 ・成長

会員事業所の持続的発展に必要な
事業を推進します。

商工会議所の 活性化

会員事業所への支援強化に必要な
足腰の強い組織づくりを推進します。



I 活力ある福島の創造

- A. ふくしま将来ビジョンの推進
- B. 政策提言・要望活動の推進
- C. 中心市街地の活性化
- D. 広域連携の推進
- E. 観光振興及び交流人口拡大対策の推進
- F. 地域の祭り・伝統文化の興隆
- G. 消費拡大の推進



II 会員事業所の発展

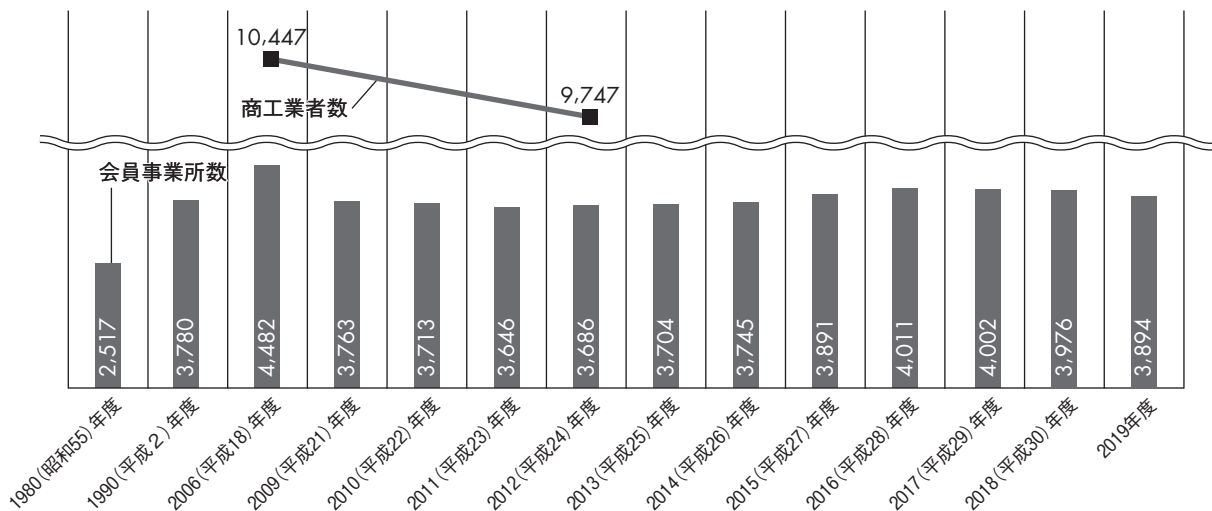
- A. 小規模事業者の伴走型支援の推進
- B. 相談支援体制の充実・強化
- C. 経営革新の推進
- D. ビジネス拡大の推進
- E. 事業承継・事業再生の支援
- F. 創業の推進
- G. 人材育成事業の推進
- H. 雇用対策事業の推進
- I. 各種調査・情報提供
- J. 業種別振興事業の推進
- K. 福利厚生 の 充実



III 魅力ある商工会議所

- A. 商工会議所の運営強化
- B. 商工会議所の情報発信力の強化
- C. 運営基盤の強化
- D. 事務局機能の強化

福島商工会議所の会員数 3,894 (R.2.29現在)



□商工業者数：資料／経済センサス基礎調査（総務省統計局）
 ・数値は福島商工会議所管内（飯坂、松川、飯野地区を除く）の商工業者数
 ・調査は4～5年毎に実施され、直近として、2012（平成24）の数値を記載

2. 推進体制



会 頭 **渡邊 博美**
福島ヤクルト販売(株) 代表取締役会長



副会頭 **菅野日出喜**
菅野建設(株) 代表取締役

担当部会 ◆建設業部会、金融・経営支援部会

担当委員会 ◇総務委員会



副会頭 **後藤 忠久**
(株)後藤歯科商店 代表取締役

担当部会 ◆食品商業部会、生活関連商業部会、情報・通信部会

担当委員会 ◇中心市街地活性化委員会



副会頭 **坪井 大雄**
福島貸切辰巳屋自動車(株) 代表取締役社長

担当部会 ◆工業部会、観光・飲食部会

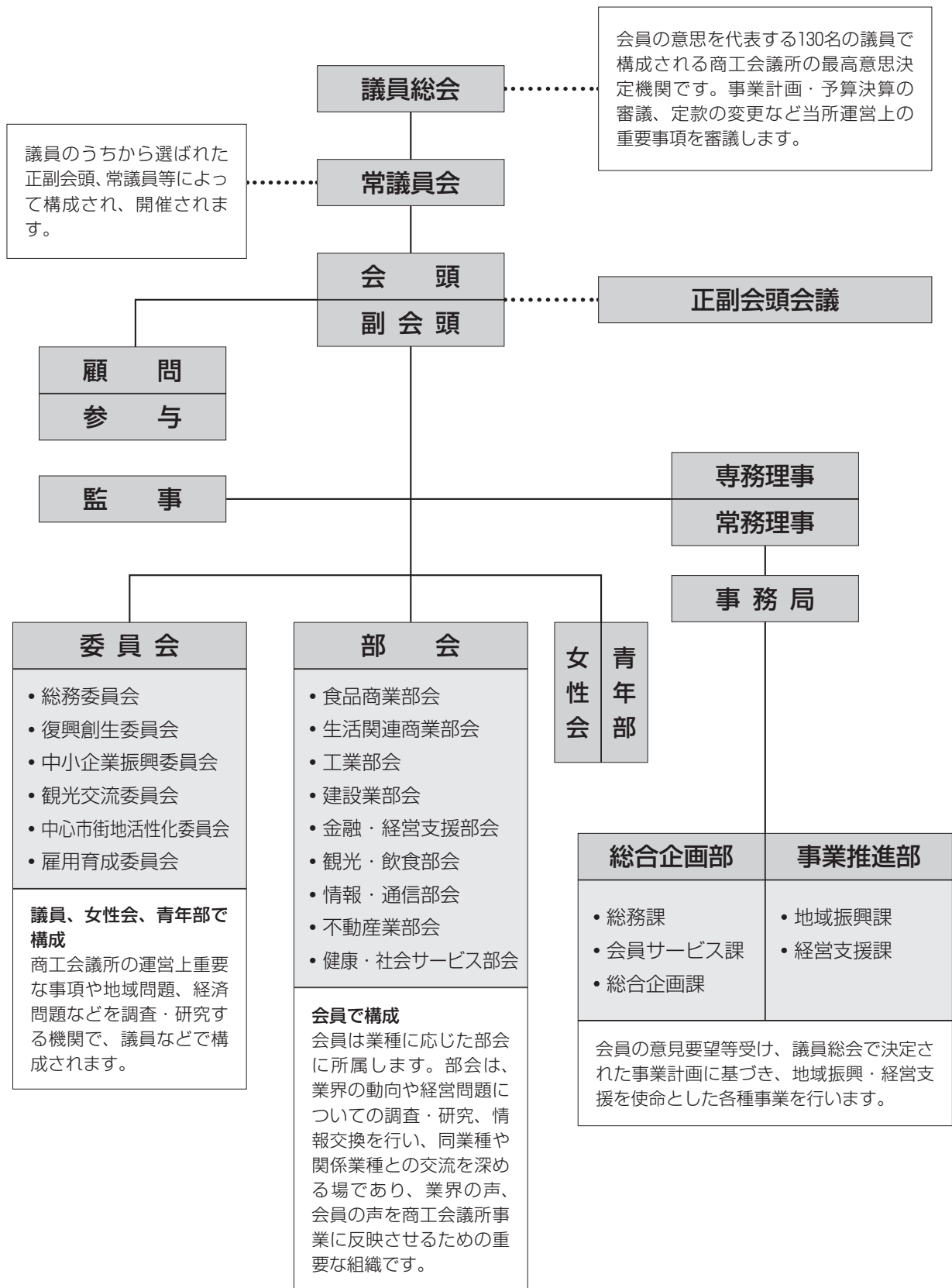
担当委員会 ◇観光交流委員会、雇用育成委員会



副会頭 **大槻 博太**
大槻電設工業(株) 代表取締役

担当部会 ◆不動産業部会、健康・社会サービス部会

担当委員会 ◇復興創生委員会、中小企業振興委員会



1. 事業方針

令和2年度事業計画の概要(案)について

1. 基本理念 足腰の強い「健都ふくしま」を目指して

2. 年間テーマ ①会員事業所のさらなる活力強化 ②新たなまちづくりの実現の加速化

3. 事業概要

東日本大震災から9年が経過し、人口減少が加速する中、福島市の経済はいまだ続く風評や深刻な人手不足、消費税率引上げ後の需要低迷、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞など課題が山積している。

福島市の真の復興を目指す「ふくしま将来ビジョン」の実現に向けたアクションプランに基づき将来に希望もてるまちづくりを推進するためには、市民・企業・地域社会の元気が不可欠であることから、会員事業所の活力と地域の活性化のため、現場主義に徹しながら、失敗を恐れず足腰の強い「健都ふくしま」の実現に向けた事業に積極的に取り組んでいく。

(1) 中小企業支援の充実

企業を取り巻く環境が厳しさを増す中、経営発達支援計画に基づき、事業者寄り添った伴走型支援を推進し、経営課題の解決に向けた取り組みを一層強化する。

新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞によって深刻な状況にある企業に対してきめ細かな情報提供と経営相談に応じるほか、台風被害の事業所へのグループ補助金等を活用した支援を引き続き実施するとともに、福島市と共同で小規模事業者の事業継続力強化を支援するための計画の策定・認定を目指す。

さらに人手不足とともに、後継者不足も大きな課題であることから、生産性向上や人材育成などを推進するとともに、専門家を活用しながら、販路拡大や新分野進出への取り組みを支援するほか、円滑な事業承継や創業の支援に積極的に取り組む。

[主な重点事業]

- 新型コロナウイルス感染症に対応したきめ細かな情報提供や経営相談の展開
- 経営発達支援計画に基づく伴走型支援による会員事業所の経営課題の解決
- 自然災害や新たな感染症などの緊急事態に備えた事業継続計画（BCP）の策定支援
- 後継者不足に対応した円滑な事業承継および新規創業への支援

(2) 福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化

福島市が平成30年12月に発表した「風格ある県都を目指すまちづくり構想」に描かれた賑わいと魅力あふれる中心市街地を実現するため活性化事業に取り組む。

まちの回遊性を高めて滞留時間を増やすため、世代を超えて集えるイベントに加え、



NHKの連続テレビ小説「エール」を素材とした展示施設の開設など情報発信機能を強化し、民間の活力と幅広い世代の参画によるまちづくりの推進を通じて賑わい創出を図る。

[主な重点事業]

- 新たな交流・集客拠点整備をはじめとする福島駅東口地区市街地再開発事業への支援・協力
- 若者の中心市街地活性化への参画
- 世代を超えて集える賑わい創出イベント等の実施によるまちの回遊性向上

(3) 連続テレビ小説「エール」などを活用した観光振興および交流人口拡大対策の推進

3月30日から放映される連続テレビ小説「エール」、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を通じて福島が国内外から注目されることから、おもてなしサービスの向上を図るとともにインバウンド対応も含めた観光振興を図るほか、昨年夏に全面的にリニューアルされた「福島わらじまつり」、福島ユナイテッドFCや福島出身の力士三兄弟などの活躍を通じて福島の元気を積極的に発信し、回遊性を高めることにより何度も訪れたいまちづくりを推進する。

また、中核市福島市を中枢都市とする連携中枢都市圏構想の形成を見据えながら、東北中央自動車道を活用した広域連携や観光振興をさらに推進し、近隣商工団体との連携による交流人口の拡大を図る。

[主な重点事業]

- 「古閑裕而のまち・ふくしま」まちなか回遊事業等の推進
- 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた各種歓迎イベントとの連携
- 福島わらじまつりを活用した地域活性化の推進
- 東北中央自動車道を活用した広域連携の推進

(4) 会員サービスの向上と組織・財政基盤の強化

会員満足度調査で得られたニーズや課題に対応し、会員事業所の満足度を高めるように会員サービス事業の向上や充実を図るとともに、会員サービス事業を担当する課を会員から分かりやすくするため、「商工サービス課」から「会員サービス課」に課名を改める。

また、会員サービスを多くの会員事業所に利活用してもらえるように、商工会議所の広報力を高めて、退会の抑制および新規加入の増加を図る。

これらの会員サービスの充実を図るためには健全な組織・財政基盤が欠かせないことから、会員増強の推進や会員事業所への福利厚生充実とともに共済制度の普及拡大に一層努める。

[主な重点事業]

- 会員満足度を高める会員サービス事業の向上と情報発信力の強化
- 組織率40%堅持のための議員・職員による新たな会員増強運動の推進
- 生命共済制度の維持拡大及びBCPと連動した提携損害保険の推進

(1) 施策 I 活力ある福島の創造（地域経済の活性化）

I-A ふくしま将来ビジョンの推進

1 アクションプランの見直しならびに進捗管理 **重点**

- (1) 部会・委員会等連携による具体的事業の実施
- (2) 福島市をはじめとする関係機関への提言並びに要望活動の実施

I-B 政策提言・要望活動の推進

1 商工会議所ネットワークの活用・強化による提言能力・実現力の向上

- (1) 部会・委員会による地域課題の調査・研究
- (2) 日本商工会議所、東北六県商工会議所連合会、福島県商工会議所連合会との連携
- (3) 各種経済団体・業界団体・大学等との政策課題の調査・研究

2 政策提言・要望活動の実施

- (1) 福島駅周辺を核とする中心市街地活性化に関する要望
- (2) 福島市の都市形成およびまちづくりの推進に関する要望
- (3) 中核市としての独自の施策の実施および連携中核都市圏構想（※1）の推進に関する要望
- (4) 復興のための幹線道路の整備促進及び建設促進に関する要望
- (5) 観光振興および交流人口拡大に関する意見・要望活動の実施
- (6) 景気対策および中小企業対策等に関する要望
- (7) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組みの強化に関する要望
- (8) 原子力災害に関する要望

I-C 中心市街地の活性化

1 中心市街地活性化の推進

- (1) 福島市中心市街地活性化協議会の運営と第2期基本計画の推進
- (2) 福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化 **重点**
 - ① 福島駅東口地区再開発事業への支援・協力
 - ② 再開発事業と連携した新たな交流・集客拠点整備の推進および環境整備の検討
 - ③ 福島駅周辺（駅前通り等）における賑わい創出イベント等の実施
 - ④ まちづくり推進基金を活用した中心市街地活性化のための調査・研究およびイベントの推進
 - ⑤ 福島駅新東西自由通路の検討
 - ⑥ 街なか広場の利活用の推進

★ (3) 県立医大「保健科学部」（仮称）のまちなか受入れ事業の実施

- ① 福島市商店街連合会との連携による学生サービス事業の実施

- (4) 若者のまちづくりへの参画の推進

- ① 若い世代に魅力あるまちの創造と、学生が滞留するための施設等の検討
- ② 市内の学生および若者をまちづくり活動に取り込む仕掛けづくりの検討

- (5) ㈱福島まちづくりセンターとの連携

2 世代を超えて集えるにぎわい創出の推進

- (1) 福島駅前元気プロジェクト（春・夏・秋・冬）等のにぎわい創出イベントの展開
- (2) 商店街等の各種行事・イベントへの支援・協力
- (3) 福島駅前通りのにぎわい創出の仕組みづくりの検討
- (4) 関係団体との情報・意見交換

3 都心居住の推進

- (1) 集合住宅、ニーズに対応した居住サービスの提供に関する検討
- (2) 県立医大「保健科学部（仮称）」新設に伴う住居ニーズへの対応
- (3) 空き家対策の推進

4 情報の発信

- (1) ホームページによる「まちなかイベントカレンダー」等情報発信の強化
- (2) まちなかイベントの相互PRの推進

I-D 広域連携の推進

1 県境を越えた広域連携の推進

- (1) 東北中央自動車道を活用した広域連携の推進（福島・相馬・米沢・山形） **重点**
 - ① 相馬・米沢方面からの誘致策の検討
 - ② 東北中央自動車道沿線道の駅等を活用した本市観光PR・物産展の実施
 - ③ 仙台国際空港を活用した広域観光周遊ルートの検討
 - ④ 東北中央自動車道活用に向け、相馬・米沢の企業・山形大学工学部および商工会議所等との交流推進
 - ⑤ 連携中核都市圏構想を見据えた福島市周辺の経済団体による連携組織の設立と連携事業の推進

☆ ⑥ 福・相・米「観光ドライブMAP」改正版の発行

- (2) 東北中央自動車道、福島西道路沿線における土地利用に関する調査・研究
- (3) 連携中核都市圏構想による中小企業振興の推進
- (4) 東北中央自動車道大笹生IC周辺整備（道の駅、工業団地等）の促進

2 福島西道路の南伸並びに東北中央自動車道霊山ICと医大を結ぶ新たな国道115号線ルートの整備促進



[凡例] ★新規事業 ☆リニューアル事業 ◎は部会の重点事業

I-E 観光振興および交流人口拡大対策の推進

1 昭和の大作曲家・古関裕而氏を未来へつなぐ事業の推進 **重点**

(1) 古関裕而氏を活かしたまちづくりの推進

★ ① 「古関裕而のまち・ふくしま」まちなか回遊事業の推進

★ ② 「古関裕而ゆかりの地マップ」改正版の発行

★ (2) 古関裕而氏にちなんだ「応援（エール）グルメ」「応援（エール）寿司」の実施

★ (3) 福島市が行う古関裕而関連事業への支援・協力

(4) 「古関裕而氏の野球殿堂入りを実現する会」への支援協力

(5) 「古関裕而関連事業」（青年部）への支援協力

2 地域資源を活用した観光素材等の情報発信による誘客の推進

(1) まつり（東北絆まつり2020山形・第51回福島わらじまつり）を活用した地域活性化の推進

(2) わらじまつり PR 隊による広報活動推進

(3) 既存観光資源の活用と広域観光の推進（信夫山、花見山、花ももの里、温泉、福島競馬場等）

(4) 県外・海外での観光 PR への支援・協力

(5) ふくしま地域ポータルサイト「ももりんく」の運営支援

3 「花のまちふくしま」による誘客事業の実施

(1) 「ふくしま花のまちフェスティバル2020」の実施

4 観光振興のための連携の推進

(1) 仙台国際空港を活用した南東北3県にまたがる広域的な観光商品の検討

★ (2) 2021年東北デスティネーションキャンペーンへの協力

(3) 周辺市町村と連携した広域観光の推進

① 「相馬野馬追」「米沢上杉まつり」などを活用した相馬・米沢との連携による広域観光の推進

② 「福島ロボットテストフィールド」等を活用した観光振興

(4) 観光関係団体（福島市観光コンベンション協会等）との連携強化

5 交流人口拡大に向けたスポーツイベントへの支援・協力

(1) 福島ユナイテッド FC への支援（サポーターズクラブ加入促進等）

★ (2) 福島市出身の大相撲力士大波三兄弟への支援

6 国際交流およびインバウンド推進

(1) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたインバウンド対応の推進 **重点**

① 外国人との接客に関するおもてなしセミナーの実施

② インバウンド受入れ態勢の充実

③ インバウンド受入れ拡大に向けた情報発信の強化

(2) スイス連邦、ベトナムのホストタウンとしての交流への支援

(3) ふくしま台湾友好協会の交流の促進

I-F 地域の祭り・伝統文化の興隆

1 第51回福島わらじまつりの開催
[8月7日(金)・8日(土)]

2 「東北絆まつり2020山形」への福島わらじまつりの参加
[5月30日(土)・31日(日)]

3 第42回ふくしま花火大会の実施協力
[9月26日(土)]

4 第13回ふくしま山車祭り～県北の山車集結～の実施協力
[6月6日(土)]

5 「信夫三山眺まいり」に対する支援・協力

I-G 消費拡大の推進

1 飲食店ガイド・パンフレット等活用による消費拡大の推進

(1) 優待食事券事業「2020ランチで食うボン（春）・（秋）」の実施 **重点**

(2) 『ようこそふくしま「うまいもの店」・「湯けむり紀行」』の作成の検討

※1 連携中枢都市圏：地域で相当の規模と中核性を備える圏域の市町村が連携することでコンパクト化とネットワーク化を図り、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成すること

(2) 施策Ⅱ 会員事業所の発展（企業の安定・成長） ①

Ⅱ-A 小規模事業者の伴走型支援の推進

1 小規模支援法に基づく経営発達支援計画による伴走型個社支援の強化 **重点**

2 ふるさと元気支援事業の推進（新規創業・新分野進出・新たな販売促進への補助支援） **重点**

3 小規模事業者持続化補助金等による伴走型個社支援の推進 **重点**

4 福島県小規模いきいき支援事業に対する支援協力

5 連携による中小企業振興の推進

(1) 福島市中小企業振興基本条例に関する支援・協力

(2) オールふくしま中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会に対する支援・協力

Ⅱ-B 相談支援体制の充実・強化

1 さまざまな経済環境に対応した経営相談の充実

(1) 新型コロナウイルスに対する企業支援の強化 **重点**

(2) 台風19号グループ補助金等を通じた復興支援 **重点**

2 金融に関すること

(1) 小規模事業者経営改善資金融資制度（マル経融資）の利用促進

(2) 小規模事業者経営発達支援融資事業の利用促進

(3) 各種制度資金（国・県・市等）の利用促進

(4) 金融相談会の開催

3 税務申告業務の充実

★ (1) 経営指導員による消費税申告書作成の取り組み強化

(2) 記帳の電子化・クラウド化に関する支援（ブルーリターンA等）

(3) 消費税申告に関する支援

4 消費税に関すること

(1) 消費税対策窓口相談事業の実施

① 個別経営なんでも相談会の開催

② 消費税に関するセミナーの開催

5 労務に関すること

6 原子力損害賠償に関すること

7 専門家による指導体制の充実

(1) 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業

(2) 嘱託専門職員（専門指導センター）の活用

(3) 専門家（中小企業診断士等）の個別企業への派遣指導

(4) 弁護士、社会保険労務士等による個別相談の実施

(5) 国際ビジネスアドバイザーによる貿易相談の実施

8 事業継続計画（BCP）に関する支援 **重点**

(1) 自然災害や新たな感染症などの緊急事態に備えたBCPの策定支援

★ (2) 事業継続力強化支援計画の策定・認定（福島市との共同作成）

(3) 経営セーフティ共済（中小企業倒産防止共済制度）の普及促進

(4) ビジネス総合保険制度をはじめ事業リスクに対応した保険制度の普及促進

Ⅱ-C 経営革新の推進

1 経営革新等支援機関としての経営革新支援の充実・強化

(1) 経営革新計画策定および認定に関する支援

(2) 経営革新に関する個別相談会の開催

Ⅱ-D ビジネス拡大の推進

1 小規模事業者の販路拡大支援（補助金活用による経営安定化の推進）

2 医療福祉分野、再生可能エネルギー分野、ロボット産業分野への参入支援

3 医産連携推進事業の充実

(1) ふくしま医療関連ビジネス研究会の推進

(2) 福島県立医科大学と中小企業のマッチングおよび医療機器メーカーと中小企業のマッチング支援



[凡例] ★新規事業 ☆リニューアル事業 ◎は部会の重点事業

4 産学官連携の推進

- (1) 東北中央自動車道を活かした米沢市・相馬市の事業所や山形大学工学部等との連携の推進
- (2) 福島大学食農学類をはじめとした市内大学と連携した6次化の検討
- (3) 研究機関や行政等との連携による新産業育成支援強化
- (4) 福島県立医科大学「ふくしま国際医療科学センター」と地元企業との連携に関する研究
- (5) 福島イノベーションコースト構想に関する地域企業との連携

5 ビジネスチャンスの提供

- (1) 会員交流会・商談会、新入会員交流会の開催
- (2) ICTの利活用の推進（ザ・ビジネスモールの登録促進等）
- (3) DM 配送サービス（企業情報宅配便）による取引拡大支援
- (4) 商取引の照会・斡旋

6 優良会員事業所表彰制度の充実

II-E 事業承継・事業再生の支援

1 後継者対策、事業承継に関する支援の充実 **重点**

- (1) 事業承継のマッチングに関する支援
- (2) 事業承継に関する個別相談の実施
- (3) 福島県事業引継ぎ支援センターと連携した無料相談会の実施

2 事業再生に関すること

- (1) 経営安定特別相談事業による倒産防止相談の実施
- (2) 事業転換に関する支援

II-F 創業の推進

重点

1 創業スクールの実施

2 創業に関する個別相談の充実

- (1) ビジネスプラン作成の支援
- (2) 開業資金の調達に関する支援

II-G 人材育成事業の推進

1 人材育成・経営課題に関するセミナーの実施

- (1) 経営課題別セミナーの開催
- (2) 組織階層別セミナーの開催（新入社員、中堅社員、営業社員等）
- (3) 製造企業の技術力向上に関するセミナーの開催（県北技塾）
- (4) 「生産性向上支援訓練」の開催

① パソコン教室の実施

- (5) 小学生職場体験事業の実施
- (6) 福島市産官学連携プラットフォーム連携推進会議との連携

2 各種検定試験による商工技能の向上

- (1) 各種検定試験の実施
 - ① 簿記検定（企業会計知識の習得）
 - ② 販売士検定及び販売士資格更新講習会（消費者の「買いたい」をつくる力の習得）
 - ③ 珠算検定（記憶力および情報処理力の習得）
 - ④ PC 検定（パソコンを駆使した効果的・効率的な業務遂行力の習得）
 - ⑤ 福祉住環境コーディネーター検定（医療×福祉×建築の総合力の習得）
 - ⑥ ビジネス実務法務検定試験（ビジネス上の基本法律知識の習得）
 - ⑦ カラーコーディネーター検定（色彩効果の活用力の習得）
 - ⑧ 環境社会検定（eco 検定）（ビジネスと環境の関連説明力の習得）
 - ⑨ ビジネスマネージャー検定（マネジメントの基礎知識の習得）
- (2) 検定試験受験に関する企業等へのPR強化

(2) 施策Ⅱ 会員事業所の発展（企業の安定・成長） ②

Ⅱ－H 雇用対策事業の推進

1 雇用対策に関すること

- (1) 高等学校との連携による取組み（意見交換会・企業見学会等の開催）
- (2) 市内の大学との連携
- (3) 福島市雇用促進サポート事業の実施
- (4) インターンシップの推進
- (5) 福島県プロフェッショナル人材戦略拠点との連携および普及啓発

2 働き方改革・若者・女性活躍に関すること

- (1) 働き方改革に関する国の各種施策についての情報提供
- (2) ワーク・ライフ・バランスの普及啓発および推進
- (3) 若者・女性の人材育成についての先進的な取組事例の研究
- ★ (4) 福島市人材確保支援事業の実施
- ★ (5) 福島市自立支援仕事体験事業の実施
- (6) 女性就業促進に関する行政への要望

3 健康経営[®]（※2）・職場環境に関すること **重点**

- (1) 健康経営に関する研究および情報提供
- (2) 健康経営セミナーの開催
- (3) 健康寿命延伸に関する調査・研究および推進

Ⅱ－I 各種調査・情報提供

1 登録・申請・検査業務の実施

- (1) 公害健康被害補償業務の徴収業務の実施
- (2) 容器包装リサイクル業務の実施
- (3) 原産地証明書の発行
- (4) 加工食品の放射性物質測定
- (5) 放射線測定器の貸出

2 地域経済に関する各種調査の実施

- (1) LOBO（早期景況観測）調査
- (2) 年末年始商戦アンケート調査
- (3) 中小企業景況調査

Ⅱ－J 業種別振興事業の推進 ○は部会の重点事業

1 食品商業に関すること

- (1) 食品商業の経営力強化に関すること ○
- (2) 食品商業の商環境の活性化に関すること

2 生活関連商業に関すること

- (1) 個店の魅力向上支援 ○
- (2) 販売物流の効率化支援と連携推進 ○
- (3) おもてなしサービスの向上支援

3 工業に関すること

- (1) SDGs（※3）の理念に基づいての活動の推進 ○
- (2) 出前工場見学会の開催による地域内連携の強化 ○
- (3) 足腰の強いふくしまの実現に向けた産学官連携の推進
- (4) 人材育成事業の実施（「県北技塾」、「生産性向上支援事業」の実施）
- (5) 県内外商工会議所工業部会との交流の推進 ○

4 建設業に関すること

- (1) 建設業の基盤強化に向けた取り組み ○
- (2) 福島市の都市形成に関する検討 ○
- (3) 建設業界に関する情報提供

5 金融・経営支援に関すること

- (1) 中小企業支援のための連携強化 ○
- (2) 福島復興・創生に資する研究開発拠点等の調査研究
- (3) 経済・金融・経営および地域動向に関連する講演会の開催



[凡例] ★新規事業 ☆リニューアル事業 ○は部会の重点事業

6 観光・飲食業に関すること

- (1) 古閑裕而氏を活かしたまちづくり推進事業への支援・協力 ○
- (2) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた各種歓迎イベントとの連携強化 ○
- (3) 東北中央自動車道の活用による広域観光の推進 ○
- (4) 地域飲食店の繁盛支援
- (5) 既存観光資源を活用した観光振興の推進
- (6) 関係機関等との連携の強化
- (7) 2021年東北アスティネーションキャンペーンへの協力

7 情報・通信業に関すること

- (1) 福島市のブランド力向上につながる情報発信への支援・協力 ○
- (2) 情報通信サービスに関するセミナー等の開催 ○
- (3) 部会員スピーチの開催
- (4) ICT 利活用の調査・研究、視察会の実施

8 不動産業に関すること

- (1) 快適で魅力あるまちづくりと都心居住の推進 ○
- (2) 福島市空家等対策事業に関する研究・協力 ○
- (3) 福島市の土地利用の促進に関する研究 ○
- (4) 会員事業所への情報の提供

9 健康・サービス業に関すること

- (1) 部会員のレベルアップに向けた事業の推進 ○
- (2) 生産性向上に向けた調査研究 ○
- (3) 部会員間の親睦事業等の実施

II-K 福利厚生 of 充実

1 会員事業所の福利厚生と事業リスク対策の充実

- (1) 生命共済制度・個人保険の普及・拡大 **重点**
- (2) 特定退職金制度の普及・拡大
- (3) BCP と連動した提携損害保険の推進 **重点**
- (4) 小規模企業共済制度の普及・拡大
- (5) 共済加入者還元事業の充実
- (6) 会員交流ビアパーティの開催
- (7) スイーツバイキングの開催

2 会員事業所従業員の健康増進と疾病リスク対策の推進

- (1) 生活習慣病健診の実施
- ★ (2) 人間ドック健診の実施

3 会員事業所従業員の永年勤続表彰事業の実施

4 会員事業所従業員の婚活事業の実施

※2 健康経営[®]：従業員の健康増進を重視し、健康管理を経営課題として捉え、その実践を図ることで従業員の健康の維持・増進と併せて会社の生産性向上を目指す経営手法。「健康経営」は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標

※3 SDGs：持続可能な開発目標。世界が2016年から2030年までに達成すべき17の環境や開発に関する国際目標。地球環境や気候変動に配慮しながら、持続可能な暮らしや社会を営むための世界各国の政府や自治体、非政府組織、非営利団体だけでなく、民間企業や個人などにも共通した目標

(3) 施策Ⅲ 魅力ある商工会議所（商工会議所の活性化）

Ⅲ－A 商工会議所の運営強化

1 運営強化のための会議等の充実

- (1) 常議員会・議員懇話会の充実
- (2) 部会長・委員長会議の開催
- (3) 女性会・青年部と正副会頭との意見交換会の開催
- (4) 福島市・福島市議会との意見交換会の開催
- (5) 他地区商工会議所の視察および懇談会の開催
- (6) 議員ゴルフ等の議員親睦事業の開催
- (7) 福島市新年市民交歓会の開催

2 商工会議所組織の活性化に関すること

- (1) 部会の活性化

3 会員サービスの充実

- (1) 会員満足度調査結果に基づく新たな会員サービス事業の検討
- (2) 会員交流会・商談会、新入会員交流会の開催（再掲）
- (3) 会員交流ビアパーティの開催（再掲）
- (4) スイーツバイキングの開催（再掲）
- (5) オリジナルカレンダーの作成・配布

4 女性会・青年部の運営支援と連携強化

- (1) 福島商工会議所女性会の運営
- ★ ① 創立40周年記念事業の実施
- (2) 福島県商工会議所女性会連合会の運営
- ★ ① 県女性会連合会創立40周年記念事業の実施
- ★ ② 全国商工会議所女性会連合会2021福島全国大会の受入れ準備
- (3) 福島商工会議所青年部の運営
- (4) 各種事業への支援と連携強化

5 福島県商工会議所連合会の運営

- (1) 各種会議の開催（会頭会議、総会、政策委員会、幹事会、事務局長会議、中小企業相談所長会議等）
- (2) 要望・懇談の実施
- (3) 風評被害・風化対策事業の実施
- (4) 県内商工会議所職員研修の実施

6 外郭団体との連携

- (1) 福島市商店街連合会
- (2) 福島市商店街連合会青年部
- (3) 福島青色申告会連合会
- (4) 福島市青色申告会
- (5) 福島県珠算連盟
- (6) 福島珠算連盟
- (7) 福島わらじまつり実行委員会
福島夏まつり委員会
- (8) 福島エネルギー懇談会
- (9) 東北経済連合会福島地域懇談会
- (10) 福島県警察官友の会連合会
- (11) 福島地区警察官友の会
- (12) 福島県自衛隊協力会連合会
- (13) 福島市自衛隊協力会
- (14) 福島県クリーンふくしま運動推進協議会
県北地域協議会
- (15) 福島リサイクル推進協議会
- (16) ふくしま台湾友好協会（海外交流の推進）
- (17) 福島県商工3団体暴力団等排除対策協議会
- (18) 福島市にサッカースタジアムを作る会



[凡例] ★新規事業 ☆リニューアル事業 ◎は部会の重点事業

Ⅲ-B 商工会議所の情報発信力の強化

1 情報戦略の構築

(1) 会員事業所への情報発信の強化

★ ① SNS を活用したセミナー等の開催案内など情報発信力の強化

(2) 未加入事業所と市民への情報発信の研究・強化

① ももりんビジョンによる情報発信

② 街かど情報ステーション・ほっとボックスによる情報発信

(3) メディアへの情報発信の強化

① マスコミとの意見交換会の開催

② 各種メディアによる情報発信

★ 2 「商工会議所活用辞典」ダイジェスト版の発行

3 所報ふくしまの発行と内容のさらなる充実

4 ホームページおよび ICT 環境の整備促進

5 資料提供の拡充・強化

Ⅲ-C 運営基盤の強化

1 組織基盤の強化

(1) 組織率40%堅持のための議員・職員による会員増強運動の推進 **重点**

(2) 生命共済制度の維持拡大と BCP と連携した提携損害保険の推進 **重点**

2 会員事業所の巡回訪問

3 未加入事業所に対する会員勧奨

Ⅲ-D 事務局機能の強化

1 商工会議所を取り巻く環境の変化に対応した組織の見直し

★ (1) 「会員サービス課」への課名変更

2 職員の経営支援能力等の向上

★ (1) 商工会議所経営指導員全国研修会の開催（福島市 7月2日・3日）

(2) 経営指導員、経営指導補助員研修会など職層に応じた各種研修への参加

3 働き方改革の推進

4 各種業務の見直しおよび改善の徹底

5 法令遵守体制の強化・改善

第3部 部会・委員会事業

1. 部会事業 (正副部会長は令和2年3月1日現在)

部会とは

- 「部会」は業種ごとの会員で構成される商工会議所の基盤組織です。
- 部会ごとに会員およびその業種・業界の発展のための活動を行います。

福島商工会議所議員任期は以下のとおりとなります。

第30期 令和元年11月1日～令和4年10月31日

◎は重点事業

1. 食品商業部会

1. 食品商業の経営力強化に関すること

- ◎(1) 風評被害の払拭と福島産品の販売促進に関する支援
- (2) 新たな商品開発（連続テレビ小説「エール」関連）に関する支援
- (3) 他業種の経営の情報収集に関する支援
- (4) 補助金を活用した売上拡大への個社支援

2. 食品商業の商環境の活性化に関すること

- (1) 部会員の交流の推進および各種セミナーの開催
- (2) 税制度の勉強会

部会長	(株)川瀬酒販	代表取締役社長	川瀬 成人
副部会長	(株)岩見	代表取締役会長	岩見 政弘
副部会長	渋谷レックス(株)	代表取締役会長	渋谷 順子
副部会長	福島中央青果卸売(株)	代表取締役副社長	池田 進二
副部会長	(有)吾妻屋	代表取締役社長	吾妻 イネ
副部会長	福島水産(株)	代表取締役	遠藤 淳弘

2. 生活関連商業部会

◎1. 個店の魅力向上支援

- (1) 個店の魅力づくり支援セミナー開催および情報発信
- (2) キャッシュレス対応セミナーの開催
- (3) マイナポイント事業・インボイス制度等の国の施策の情報提供

◎2. 販売物流の効率化支援と連携推進

- (1) 製造・販売・物流の先進企業視察会開催
- (2) 地域交通網および公共交通機関との連携に関する情報の提供
- (3) 東北中央自動車道の整備に伴う販売拡大支援

3. おもてなしサービスの向上支援

- (1) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた各種歓迎イベントへの協力
 - ・インバウンド受入れ体制の充実、強化のためのおもてなしセミナーの開催
 - ・コミュニテライブサイト実施への協力
- (2) 古関裕而氏を活かしたまちづくり推進事業への支援・協力
 - ・古関裕而氏に関連したパンフレット等を活用した観光客おもてなしの推進
 - ・「古関裕而のまち・ふくしま」まちなか回遊事業への協力
 - ・（古関裕而まちなか青春館事業および（仮称）NHK エール館事業への協力）
 - ・新たな商品開発（連続テレビ小説「エール」関連）に関する支援
- (3) 地元観光資源の活用ならびに地域活性化事業への支援協力
 - ・福島わらじまつり、賑わい創出イベント開催の協力

部会長	(株)マクサムコミュニケーションズ	代表取締役社長	右近 八郎
副部会長	(株)いちい	代表取締役社長	伊藤 信弘
副部会長	(株)クラシマ	代表取締役社長	鈴木 廣明
副部会長	(株)ダイユーエイト	専務取締役	三瓶 善明
副部会長	(株)中合	代表取締役社長	黒崎 浩一
副部会長	ネットヨタ福島(株)	取締役会長	大沼 健次
副部会長	福島市商店街連合会	会長	小河日出男



3. 工業部会

◎ SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) における実践可能な目標に取り組み、理念に基づいての活動を行う

活動目標

部会活動および各部会員の事業所における活動において、ものづくり企業として生産現場における資源の再利用や廃棄物の削減などの省資源化にも取り組む。また、気候変動リスクに関する啓発・資源利用効率の向上や、環境に配慮した技術の向上などを図る。

【SDGs とは】

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

(※外務省 HP より抜粋)

事業計画項目

◎(1) 出前工場見学会の開催による地域内連携の強化

- ・当所工業部会員の出前工場見学会 (会員スピーチ、製品紹介等) を継続開催して、その現状と課題等を知り、福島市のものづくり企業間の連携の推進を図る。

(2) 足腰の強いふくしまの実現に向けた産学官連携の推進

- ・東北中央自動車道の開通に合わせて、米沢・相馬両市の企業や福島大学を含め近隣大学の工学部等とのさらなる連携の推進を図る。
- ・新産業の育成や産業集積などに関する研究機関や大学等を継続して視察することにより、研究機関等との連携の可能性を模索する。
- ・ふくしま医療関連ビジネス研究会との連携をはじめ、様々な分野への新規参入の可能性を探る。
- ・国、県、市等における産学官連携、新産業の創出、産業集積等の製造業支援施策について、福島市の産業交流プラザ等との連携を図り、各種情報の収集および提供を行う。

(3) 人材育成事業の実施

- ・管内製造企業の個々の技術者等のレベルアップを図り、地域製造業者の底上げを図ることを目的として、「県北技塾」を開催する。
- ・地域の中小企業等が持続的に成長するために重要である、労働者一人一人の生産性向上を図ることを目的として、「生産性向上支援訓練」を開催する。

◎(4) 県内外商工会議所工業部会との交流の推進

- ・福島市から米沢市まで開通し、将来的に相馬市まで繋がる東北中央自動車道の利活用推進を図るための、三都市 (仙台・米沢・会津若松) 工業部会交流会を活用した米沢・相馬商工会議所工業部会との交流を始めとした、県内外商工会議所工業部会との交流の推進を図る。

部会長	加藤鉄工(株) 代表取締役社長	加藤 利夫
副部会長	内池醸造(株) 代表取締役会長	内池 浩
副部会長	協三工業(株) 代表取締役	加藤 守
副部会長	サンヨー缶詰(株) 代表取締役社長	三枝 通晃
副部会長	福島製鋼(株) 代表取締役社長	福谷 宏介
副部会長	(株)福島製作所 代表取締役	百田 昭洋
副部会長	(株)山川印刷所 専務取締役	山川 彬
副部会長	ワイザーエル(株) 取締役会長	山岸 則紀

4. 建設業部会

◎ 1. 建設業の基盤強化に向けた取り組み

- (1) 人手不足解消に向けた取組みと今後の建設業の課題に関する研究
- (2) 熟練技術者の育成および確保に向けた調査・研究
- (3) 外国人等多様な人材の活躍推進に向けた調査・研究
- (4) 働き方改革に対応した取組みに関する研究
- (5) 事業承継税制および事業承継環境の改善に関する支援

◎ 2. 福島市の都市形成に関する検討

- (1) 福島西道路南伸および北伸の整備促進に向けた支援
- (2) 東北中央自動車霊山 IC と医大を結ぶ新たな国道115号線ルートの整備促進に向けた支援
- (3) 東北中央自動車道福島大笹生 IC 周辺整備に関する支援
- (4) 新たな都市形成を見据えた用途地域見直しに関する調査・検討

3. 建設業界に関する情報提供

- (1) 駅東口再開発事業をはじめとする中心市街地開発に関する情報の提供
- (2) 各種企業支援制度に関する情報の提供
- (3) その他福島の地域開発に関する情報の提供

部会長	(株)日新土建 代表取締役	桃井 三夫
副部会長	入三機材(株) 代表取締役	上西 和子
副部会長	(株)大丸工務店 代表取締役	大和田知昭
副部会長	(株)杜設計 代表取締役	鈴木 宏幸
副部会長	日東物産(株) 取締役会長	大橋 廣治
副部会長	コバックス(株) 代表取締役	小林 仁一
副部会長	小林土木(株) 会長	小林 健夫
副部会長	福島ネオ工業(株) 代表取締役	吉川 昭

5. 金融・経営支援部会

◎ 1. 中小企業支援のための連携強化

中小企業・小規模事業者の持続的な発展を促進するためには、中小企業支援策の充実を図ることが必要不可欠である。中小企業発展に向けて、部会員間並びに福島県事業引継ぎ支援センター等の関係機関と連携を強化しながら、下記事項について普及啓発活動等を実施する。

- ・事業承継推進に向けた取組みへの支援
- ・創業や新事業進出に関する取組みへの支援
- ・大規模自然災害に備えるためのBCP（事業継続計画）策定に向けた支援
- ・働き方改革関連法への対応に向けた支援

2. 福島復興・創生に資する研究開発拠点・産業集積拠点等の調査・研究

福島の復興・創生を加速化するためには、新たな産業の育成・産業集積の推進が重要である。新たな産業の育成や産業集積に向け知見を深めるため、調査・研究を行う。

- ・研究開発拠点・産業集積拠点等の研究
- ・行政並びに関係機関等からの情報収集及び提供

3. 経済・金融・経営および地域動向に関連する講演会の開催

経済・金融・経営・地域動向をはじめ、タイムリーな情報に関する講演会を開催する。

部会長	福島信用金庫 理事長	樋口 郁雄
副部会長	(株)東邦銀行 常務取締役	須藤 英穂
副部会長	(株)福島銀行 取締役社長	加藤 容啓
副部会長	東北税理士会福島支部 支部長	阿部 寿子



6. 観光・飲食部会

◎1. 古関裕而氏を活かしたまちづくり推進事業への支援・協力

- (1) 古関裕而氏に関連したパンフレット等を活用した観光客おもてなしの推進
- (2) 古関裕而氏をテーマにしたランチメニューの企画・推進
- (3) 「古関裕而のまち・ふくしま」まちなか回遊事業への協力
 - ・「古関裕而まちなか青春館」事業への協力
 - ・「(仮称) NHK エール館」事業への協力
- (4) タクシー、バスなどの二次交通への協力

◎2. 東京オリンピック・パラリンピックに向けた各種歓迎イベントとの連携強化

- (1) インバウンド受け入れ態勢づくりのためのおもてなしセミナーの開催
- (2) コミュニティライブサイト実施への協力

◎3. 東北中央自動車道の活用による広域観光の推進

- (1) 東北中央自動車道利用促進のための福島市観光PR事業への協力
- (2) 相馬・米沢商工会議所との部会活動を通じた連携の推進

4. 地域飲食店の繁盛支援

- (1) 当所「ランチで食うボン」事業の実施
- (2) 古関裕而氏をテーマにしたランチメニューの企画・推進（再掲）
- (3) 『ようこそふくしま「うまいもの店」・「湯けむり紀行」』作成の検討

5. 既存観光資源を活用した観光振興の推進

- (1) 福島市の観光資源の利活用および観光シーズンに連動した誘客事業への協力
- (2) 既存観光資源を巡る視察会の実施

6. 関係機関等との連携の強化

- (1) 中心市街地活性化へ向けた「福島きて！みて！吞んでラリー」への協力
- (2) 県・市観光担当部局、観光コンベンション協会等との連携の強化および推進
- (3) 受動喫煙防止対策への協力

7. 2021年東北デスティネーションキャンペーンへの協力

部会長	(株)ザ・ホテル大亀		
	代表取締役	渡辺	豊
副部会長	(有)シーリン		
	代表取締役	日比野恒夫	
副部会長	福島飲食業組合		
	組合長	菅野	裕輔
副部会長	福島交通(株)		
	執行役員福島支社長	茅原	稔
副部会長	福島市観光開発(株)		
	代表取締役社長	渡邊	勉
副部会長	福島社交飲食業組合		
	組合長	高橋	光子
副部会長	(有)吉川屋		
	代表取締役会長	島	隆章

7. 情報・通信部会

◎ 1. 福島市のブランド力向上につながる情報発信への支援・協力

(1) 古閑裕而のまち・ふくしま

福島市が進める「古閑裕而のまち・ふくしま」に基づき、連続テレビ小説「エール」の放映を契機とした古閑裕而氏に関する情報発信への支援・協力を推進する。

(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を通じて、福島市のブランド力向上につながる情報発信について支援・協力を行う。

◎ 2. 情報通信サービスに関するセミナー等の開催

- (1) AI、IoT、5GなどICT全体のトレンドやSNSを活用した顧客拡大など情報通信分野の最新動向に関するセミナーや講習会を会員向けに開催し、会員事業所の生産性向上を図る。

3. 部会員スピーチの開催

部会員が持つ知見を共有する機会を設け、部会員相互の資質向上、理解と交流を図る。

4. ICT利活用の調査・研究、視察会の実施

防災対策をはじめ、教育や医療産業、まちづくりなどに一層のICT利活用が図られるよう調査・研究をするとともに、先進事例の視察会を実施する。

また、インバウンド対応、まちなか回遊につながる無料Wi-Fi等の設置推進を図る。

部会長	東日本電信電話(株)福島支店 支店長 山貫 昭子
副部会長	朝日システム(株) 代表取締役社長 博多 義雄
副部会長	(株)インフォメーション・ネットワーク福島 代表取締役社長 富田 光
副部会長	(株)テレビユー福島 代表取締役社長 新田 良一
副部会長	福島テレビ(株) 代表取締役社長 横山 淳
副部会長	(株)福島民報社 専務取締役・編集主幹 芳見 弘一
副部会長	福島民友新聞(株) 代表取締役社長 五阿弥宏安
副部会長	(株)ラジオ福島 代表取締役会長 半野 秀一

8. 不動産部会

◎ 1. 快適で魅力あるまちづくりと都心居住の推進

(1) 福島市内の居住環境整備の検討

- ・ 県立医大「保健科学部」(仮称)の居住環境整備への協力
- ・ 福島市「風格ある県都を目指すまちづくり構想」に基づく都市機能強化に関する研究・情報提供

(2) 防災・減災の都市づくりに関する研究

◎ 2. 福島市空家等対策事業に関する研究・協力

- ・ 事業の進捗状況に関する情報提供
- ・ 事業の充実や円滑な運用に向けた提言・協力

◎ 3. 福島市の土地利用の促進に関する研究

(1) 東北中央自動車道、福島西道路沿線等の周辺の土地利用促進に関する研究

(2) 福島市の都市政策に関する研究

4. 会員事業所への情報の提供

- ・ 各種不動産に関連する講演会の開催など情報提供の実施

部会長	東栄物産(株) 代表取締役社長 安部 宏
副部会長	(株)エスケーコーポレーション 代表取締役会長 岡部 政美
副部会長	(有)菅野地所 代表取締役社長 加納 武志
副部会長	(株)北陽不動産鑑定事務所 代表取締役社長 金子 克之
副部会長	(株)芭蕉堂 代表取締役社長 斎藤 伸洋



9. 健康・社会サービス部会

1. 部会員のレベルアップに向けた事業の推進

- (1) 「健康経営セミナー」の開催
- (2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた「おもなしセミナー」
- (3) 古関裕而氏に関連したパンフレット等を活用したおもてなしの推進
- (4) 「健康事業所宣言」の普及・拡大
- (5) まちづくりに関する勉強会 など

2. 生産性向上に向けた調査研究

- (1) IT 導入など、業務効率化に繋がる経営戦略、人手不足の解消および生産性向上を図るための勉強会の開催
 - ・「SNS 活用による売上アップセミナー」
 - ・「ICT・IOT 導入推進セミナー」など

3. 部会員間の親睦事業等の実施

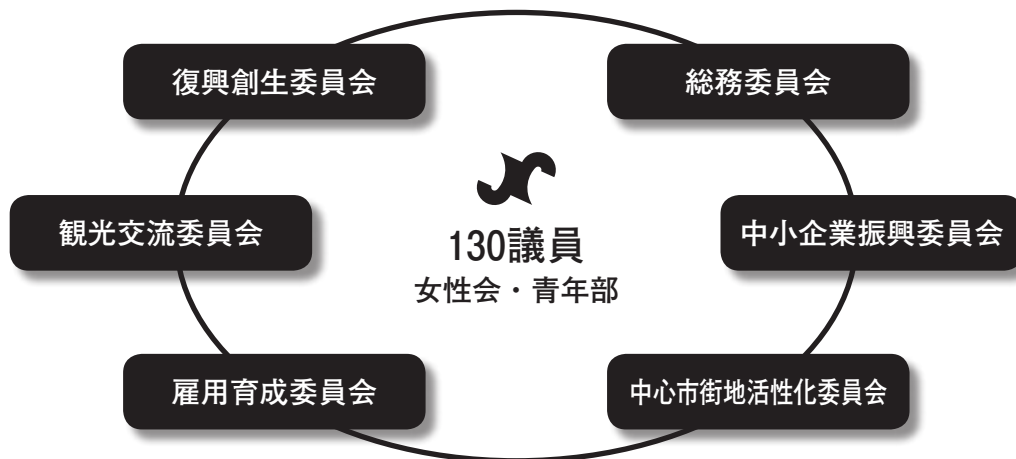
- (1) 親睦事業および視察会の開催

部会長	キョウワプロテック(株) 代表取締役社長 吾妻 学
副部長	(株)ウェディングエルティ 代表取締役社長 手塚 健一
副部長	(一財)大原記念財団 副理事長 土田 淳

2. 委員会事業 (正副委員長は令和2年3月1日現在)

委員会とは

- 委員会は、福島全体の発展を目的とする商工会議所の基盤組織です。
- 地域の課題に対応するため、6つの委員会が設けられています。
- 議員事業所と女性会・青年部で構成され、それぞれの知見を活かしていきます。



福島商工会議所議員任期は以下のとおりとなります。

第30期 令和元年11月1日～令和4年10月31日

◎は重点事業

1. 総務委員会

事業方針：商工会議所プレゼンスの更なる強化

◎事業1. 会員満足度の向上の検討

- (1) 事業周知力（情報発信機能）の強化
- (2) 会議所活動への未利用会員に対するアプローチ強化策の検討
- (3) 会員ニーズに即した事業活動の実施
- (4) 先進商工会議所事業の事例研究等を通して新たな諸活動の実施の検討

◎事業2. 委員長会議、部会長会議の開催

- (1) 課題の共有化、意見交換の実施
- (2) 行政等への要望活動等の実施

◎事業3. 組織・財政基盤の強化（会員増強運動と収益事業の普及促進）

- (1) 組織率40%維持のための会員募集活動の実施
- (2) 口数増加活動の検討と実施
- (3) ベストウイズキャンペーンの推進（生命共済）（5月・6月、10月・11月）並びに特定退職金共済、業務災害補償プラン、ビジネス総合保険等の普及促進

◎事業4. 商工会議所を取り巻く環境の変化に対応した組織の見直し

より効率的な会議所組織の在り方や、課題に対応した委員会編成等についての協議を行う。

委員長	朝日システム(株) 代表取締役	博多 義雄
副委員長	(株)ウェディングエルティ 代表取締役社長	手塚 健一
副委員長	西川サッシ販売(株) 代表取締役会長	西川 博美
副委員長	(株)マクサムコミュニケーションズ 代表取締役社長	右近 八郎



2. 復興創生委員会

1. ふくしま将来ビジョンアクションプランの再検証並びに進捗管理

- (1) 各委員会や部会等で令和元年9月までに取り組んだ進捗状況調査を基に、アクションプランの見直しを含めた内容の再検証
- (2) 再検証後の進捗度合の状況確認を行うとともに、必要に応じてその実現に向けた関係団体等への提言・要望

委員長	(株)いちい	代表取締役社長	伊藤 信弘
副委員長	コボックス(株)	代表取締役	小林 仁一
副委員長	(株)第一印刷	代表取締役社長	古川 幸治

◎2. 福島市の将来を見据えた都市形成のあり方の検討

- (1) 地方創生（まち・ひと・しごと）の取り組みに関する調査・研究
 - ① 若者の地元企業への就職促進並びに、Uターン等での就職に対する仕事づくりの環境整備の推進
 - ② 若年層が結婚・出産・子育てしやすい環境整備の推進
 - ③ 本市の魅力・強みを活かした交流人口の拡大及び、定住・移住の促進などに関する対応策への支援・協力
 - ④ リノベーションまちづくりに関する検討
- (2) 福島市の将来を担う高校生や大学生等の若者が考える、福島市のまちづくりに関する調査・研究

◎3. 福島市の広域連携に関する調査・研究

- (1) 福島市が広範囲の地域活性化と連携事業の推進を図ることを目的に設立した、福島圏域連携推進協議会（11市町村）との連携・協力
- (2) 連携中枢都市圏構想の実現に向けた調査・研究並びに、先進地視察会の実施
- (3) 商工団体の広域連携としての、(仮)県北商工団体広域連携会議の設立に向けての検討
- (4) 産学金官連携や6次産業化支援等による広域での産業推進の研究

3. 中小企業振興委員会

◎1. 中小企業経営に関する伴走型支援の強化

- 改正小規模支援法に基づいた経営発達支援計画による会員事業所の伴走型経営支援
- 事業継続力強化（BCP）支援の推進
- 小規模事業者持続化補助金等に係る経営計画策定による経営支援
- IT・IoT・AI・ロボット等を活用したデジタルシフトによる生産性向上支援

◎2. 新規創業・事業承継に関する支援

- 当所制度ふるさと元気支援補助金等を活用した新規創業・第二創業・新たな販促の支援
- 創業スクール実施による新規創業支援の強化
- 事業承継に関する支援強化および福島県事業引継ぎ支援センター等関係機関団体と連携強化
- 当所制度ふるさと元気支援補助金充実強化に関する研究

3. 優良会員事業所表彰制度の充実

- 新商品・新技術開発の促進、独自のサービス手法などにより著しい発展を遂げた事業所および、省資源・省エネルギー化に積極的に取り組んでいる事業所、健康経営を積極的に推進している事業所、子育て世代の女性の社会進出や女性の積極的な登用などに貢献している事業所などを顕彰することにより、事業所の経営意欲を高め地域経済の活性化を図ることを目的とした当事業について、より充実した内容とする。

4. 連携による中小企業振興の推進および情報提供

- 福島市中小企業振興基本条例に関する支援・協力
- 連携中枢都市圏構想に関する情報提供
- 大学をはじめ企業や研究機関、行政等との産学官との連携
- オールふくしま中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会に対する支援・協力
- 医療、再生可能エネルギー、ロボット産業等に関する情報提供

委員長	(株)大丸工務店 代表取締役	大和田知昭
副委員長	山正酸素(株) 代表取締役会長	佐藤 允昭
副委員長	(株)樋口商店 代表取締役社長	樋口 幸一



4. 観光交流委員会

委員長	東日本旅客鉄道(株)福島駅 福島駅長	佐々木高敏
副委員長	福島観光サービス(株) 会長	齋藤 修
副委員長	(有)吉川屋 代表取締役会長	島 隆章

◎1. 古関裕而氏を活かしたまちづくり推進事業への支援・協力

- (1) 「古関裕而のまち・ふくしま」まちなか回遊事業への協力
 - ① 「古関裕而まちなか青春館」事業への協力
 - ② 「NHK エール館」事業への協力
- (2) 古関裕而氏に関連したパンフレット等を活用した観光客おもてなしの推進
- (3) 古関裕而氏をテーマにしたランチメニューの検討
- (4) 古関裕而氏野球殿堂入り実現へ向けた活動の推進
- (5) 古関裕而氏の妻金子氏の出身地愛知県豊橋市との交流事業の実施

◎2. 東京オリンピック・パラリンピックに向けた各種歓迎イベントとの連携強化

- (1) コミュニティライブサイト実施への協力
- (2) 2020年東北・新潟の情報発信拠点事業「東北ハウス」への協力

◎3. 東北中央自動車道の活用による広域観光の促進

- (1) 東北中央自動車道利用促進のための福島市観光PR事業の実施
- (2) 仙台国際空港を活用した広域観光周遊ルートの検討
- (3) 福島・相馬・米沢地域経済開発懇談会との連携強化

4. まつりを活用した地域活性化への支援・協力

- (1) 東北絆まつり2020山形（5月30日・31日開催）
- (2) 第51回福島わらじまつり

5. 既存観光資源を活用した観光振興の推進

- (1) 福島市の観光資源の利活用および観光シーズンに連動した誘客事業の実施
 - 【観光資源】花見山・花ももの里・信夫山・福島競馬場・旧広瀬座等
 - 【誘客事業】優待お食事券事業・駅周辺でのイベント
- (2) 秋山庄太郎生誕100年記念事業への支援・協力

6. スポーツを活かしたまちづくりの研究

- (1) 福島ユナイテッドFC・福島市出身大相撲力士（大波3兄弟）

7. 2021年東北デスティネーションキャンペーンへの協力

8. 観光振興に関する各種情報提供

5. 中心市街地活性化委員会

1. 福島駅前再開発を含めたまちづくりに関する研究

- ◎(1) 風格ある県都を目指すまちづくり構想の実現に向けて
 - ① 福島駅東口地区市街地再開発事業に関する調査研究
 - ② 県立医科大学駅前キャンパス開学に向けての医大との連携強化
 - ③ 中心市街地の公共施設のあり方に関する研究（福島市中心市街地活性化協議会との連携）
- (2) リノベーションまちづくりに関する調査研究
 - ① リノベーションスクールの研究、視察会の開催

2. 中心市街地のにぎわい創出事業への支援

- ◎(1) 古関裕而氏を活かしたまちづくり推進事業への支援
 - ① 「古関裕而のまち・ふくしま」まちなか回遊事業（「古関裕而まちなか青春館」事業 ほか）
 - ② 朝ドラ「エール」と連携したにぎわい創出（（仮称）NHK エール館事業、エール出演者のイベントへの招聘）ほか
- ◎(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック関連イベントへの支援
 - ① コミュニティライブサイト事業への支援
 - ② 駅前周辺で開催される各種歓迎イベントへの支援 ほか
- (3) 福島駅前元気プロジェクトの実施のほか、商店街、当所青年部・女性会等が主催するにぎわいイベントへの支援
- (4) 市内の学生および若者によるまちづくり活動への支援
 - ① 福島大学をはじめとする市内の大学生との意見交換
 - ② 学生および若者が取り組むイベント等への支援

委員長	福島市商店街連合会
会長	小河日出男
副委員長	(株)中合
代表取締役社長	黒崎 浩一
副委員長	(株)福島まちづくりセンター
常務取締役	草野 健



6. 雇用育成委員会

◎ 1. 生産性向上と多様な人材の活躍推進

- (1) 高等学校・大学等との連携による就職促進等の取組
 - ① 就職促進に関する意見交換会、企業見学会等の開催
 - ② 早期離職対策に関する検討
 - ③ 福島県産業教育振興会県北支会に関する支援・協力
 - ④ キャリアサポーター制度の推進、福島市産官学連携プラットフォームへの参画等
- (2) 多様な人材の活躍推進に関する取組
 - ① 若者や女性活躍に関する先進的な取組事例の研究
 - ② 女性活躍推進法や「えるぼし」取得に関する普及啓発
 - ③ 外国人材活用に関する研究

2. 働き方改革および中小企業の活力強化

- (1) 働き方改革関連法等、労働法制への中小企業の対応促進
- (2) ワーク・ライフ・バランス、テレワーク等の普及啓発および推進

3. 健康経営・職場環境に関する支援・協力

- (1) 健康経営および魅力ある職場づくりに関する研究および情報提供
 - ① 健康事業所宣言の普及啓発
 - ② 健康経営セミナーに関する支援・協力
 - ③ チャレンジふくしま県民運動に関する支援・協力
 - ④ 魅力ある職場づくりや、働きやすい職場環境づくりに関する普及啓発

委員長	(株)東邦銀行 常務取締役	須藤 英穂
副委員長	(株)古俣工務店 代表取締役	古俣 猛
副委員長	日東物産(株) 取締役会長	大橋 廣治

